

添付資料

添付資料 - 1	調査団員リスト	A-1
添付資料 - 2	調査日程	A-2
添付資料 - 3	主要面会者リスト	A-4
添付資料 - 4	個別協議議事録	A-6
添付資料 - 5	質問票に対する回答	A-24
添付資料 - 6	収集資料リスト	A-32
添付資料 - 7	写真集	A-34

添付資料 - 1 調査団員リスト

No.	担 当	氏 名	所 属	期 間
1	総 括	杉山 茂	国際協力事業団無償資金協力部 業務第三課職員	2月26日～3月6日
2	道路計画	西村 光	セントラルコンサルタント(株)	2月26日～3月26日
3	橋梁計画	魚地昌一	セントラルコンサルタント(株)	2月26日～3月26日
4	社会・環境配慮	畠山祐二	アイ・シー・ネット(株)	2月26日～3月26日

添付資料 - 2 調査日程

日順	日付		行程、面会先	宿泊先
1	2月26日	(水)	成田 ロンドン	ロンドン
2	27日	(木)	ロンドン アディス・アベバ(28日早到着)	アディス・アベバ
3	28日	(金)	* 在エチオピア日本大使館表敬(庵原大使、荻野書記官) * 外務省表敬(アジア中東総局副局長) * 財務経済開発省表敬(2国間協力部長) * エチオピア道路公社(ERA)表敬(総裁) * 世銀エチオピア事務所表敬(Senior Operation Officer) * JICA エチオピア事務所と打ち合わせ(江畑所長)	同上
4	3月1日	(土)	サイト調査(アディス・アベバ~ゴハチオン~デブレマルコス間)	デブレマルコス
5	2日	(日)	サイト調査(デブレマルコス~アバイ橋間)	デジェン
6	3日	(月)	サイト調査(アバイ橋~ゴハチオン間)	アディス・アベバ
7	4日	(火)	* ERAと協議(計画局長) * 実施中案件コンサルタント常駐管理者と協議	同上
8	5日	(水)	* ERAと協議(計画局長) * 日本大使館へ中間報告(荻野書記官) * 国連 ECA 表敬(RCID 運輸担当課)	同上
9	6日	(木)	* ERAと協議 * 日本大使館へ中間報告(庵原大使、荻野書記官) * JICA 事務所へ中間報告(江畑所長)	同上
10	7日	(金)	* 杉山団長ナイロビに移動 * ERAとサイト調査内容について協議 * ERAより環境関連法令について資料収集	同上
11	8日	(土)	環境調査専門家と調査内容について打ち合わせ	同上
12	9日	(日)	アディス・アベバ~モジョ~ジウエイ~プタジラ~アディス・アベバ間道路並びに道路改良工事状況視察	同上
13	10日	(月)	* 交通調査実施地点確認及び地質専門家と峡谷区間の地質状況把握 * ゴハチオン~アバイ橋間の沿道住民への聞き取り調査実施	デジェン
14	11日	(火)	* 峡谷区間の地質概査実施、交通調査実施、ゴハチオン警察署で交通事故データ収集 * アバイ橋の老朽度調査実施 * アバイ橋並びに周辺での路線縦断測量及び中心線測量実施 * アバイ橋~デジェン間の沿道住民への聞き取り調査実施	同上
15	12日	(水)	* 峡谷区間での地質概査継続、デジェン~デブレマルコス間の軟弱地盤区間の地質概査実施、デジェン警察署で交通事故データ収集 * アバイ橋の老朽度調査継続、デジェン~デブレマルコス間の中小橋梁の老朽度調査実施 * アバイ橋並びに周辺での路線中心線測量及びアバイ川の横断測量実施 * デジェン~デブレマルコス間の沿道住民への聞き取り調査実施	デブレマルコス
16	13日	(木)	* ERAのデブレマルコス地域事務所で資料収集 * デジェン~デブレマルコス間中小橋梁老朽度調査継続 * デブレマルコス警察署で交通事故データ収集 * デブレマルコス農業事務所で農業及び林業関係資料収集 * デブレマルコス農村開発事務所で自然環境資料収集 * アバイ川の横断測量実施	同上
17	14日	(金)	デブレマルコス~バハールダール間の道路改良工事状況視察	バハールダール
18	15日	(土)	バハールダール~デジェン間の道路状況視察	デジェン
19	16日	(日)	アディス・アベバに移動	アディスアベバ
20	17日	(月)	* JICA エチオピア事務所に第2回中間報告(矢部所員) * ERAにて資料収集 * CIDAにて関連プロジェクトについてヒアリング	同上

21	18日	(火)	* ERAにて資料収集 * 地理院にて地形図入手 * ERAにてEIAと土地収用/補償についてヒアリングと資料収集	同上
22	19日	(水)	実施中案件コンサルタント常駐管理者と協議ならびに施工現場視察	同上
23	20日	(木)	* 地理院にて航空写真入手手続き * ERA アルムゲナ地域事務所で資料収集 * コンクリート中性化試験実施 * 野生生物保護協会にてヒアリングと資料収集 * 気象庁にて気象データ入手	同上
24	21日	(金)	* SIDAにて関連プロジェクトについてヒアリング * Ethiopian Petroleum Enterpriseにてスーダンからの石油輸入についてヒアリング * ERAの舗装管理部において軸重関連情報ヒアリング * 水資源省にて環境保全資料についてヒアリング	同上
25	22日	(土)	収集資料整理	同上
26	23日	(日)	収集資料整理	同上
27	24日	(月)	* 地理院で航空写真入手 * 陸運局より資料入手 * 水資源省で河川関連データ入手 * 日本大使館に帰国報告(庵原大使、荻野書記官) * JICA エチオピア事務所に帰国報告(江畑所長) アディス・アベバ発(深夜)	機中泊
28	25日	(火)	フランクフルト着 フランクフルト発	機中泊
29	26日	(水)	成田着	

添付資料 - 3 主要面会者リスト

No.	訪問先機関	部 局	氏 名	職 位	
1	外務省 (Ministry of Foreign Affairs)	Asia, Australia & Middle East Directorate General	Mr. Addis Dilnessa	Acting Director General	
			Mr. Ashenafi Abebe	Counselor	
			Mr. Yeebu Lijalen	Japan Desk Officer	
2	経済開発省 (Ministry of Finance and Economic Development)	Bilateral Cooperation Department	Mr. Hailemichael Kinfu	Head	
			Mr. Gebremedhin Birega	Expert of Asia, Australia and Middle East Desk	
3	エチオピア道路公社 (Ethiopian Roads Authority – ERA)	Planning and Programming Div.	Mr. Tesfamichael Nahusenay	Director General	
			Mr. Zahid Wolde Gebriel	Manager	
			Mr. Bekele Negussie	Head of Planning & Programming Management Branch	
			Mr. Kifle Fantaye	Economist, Planning & Programming Management Branch	
			Mr. Teshome	Ecologist, Planning & Programming Management Branch	
			Mr. Daniel Mengiste	Head of Monitoring and Evaluation Branch	
			Mr. Addisa Megersa	Head of Environmental Management Branch	
			Bridge Maintenance Branch	林 昌弘	JICA 長期専門家 (橋梁分野)
				Mr. Mesfin Berenef	Bridge Engineer
			Pavement Management Branch	Mr. Haileyesus Adamtie	Chief
			Contract Administration Division	Mr. Abi Tesfaye	Administrator
			Debre Markos District Office	Mr. Haddis Tesfaye	District Manager
			Alem Gena Dirstrict Office	Mr. Mesefen Haile	District Manager
Mr. Workew Kuma	Assistant				
Alem Gena Training and Testing Center	山名 良	JICA 長期専門家 Chief Advisor			
4	陸運局 (Road Transport Authority)	Technic & Vehicle Procurement Dept.	Mr. Demeke Bekele	Head	
5	Ethiopian Petroleum Enterprise		Mr. Worku Gossaye	Technical Expert	
6	世界銀行エチオピア事務所		Mr. Negede Lewi	Senior Operation Officer	
7	Swedish International Development Agency (SIDA)		Mr. Aklog Laibe	Project Officer	
8	国連アフリカ経済委員会 (UN ECA)	Regional Cooperation and Integration Div.	Mr. Mamadou Hachim Koumare	Senior Economic Affairs Officer, Transport	
9	Canadian International Development Agency (CIDA)		Mr. Tamene Tiruneh	Environment Advisor	

10	野生生物保護協会 (Ethiopian Wildlife Conservation Organization (EWCO))	Education & Public Relation	Mr. Ketema Fufa	Expert of Conservation
11	気象庁(National Meteorological Services Agency)	Coordination Office	Mr. Kidanu Mehreto	Head
12	水資源省 (Ministry of Water Resources)	Hydrology Department	Mr. Deksyos Tarekegn	Head
13	建設企画コンサルタン ト		田中敏文	第2次幹線道路改修計画 (1/2期)常駐管理者
14	在エチオピア日本大 使館		庵原宏義	特命全権大使
			荻野宏之	一等書記官
15	外務省	中東アフリカ局 アフリカ第二課	北川裕久	外務事務官
			丸尾伸一	外務事務官
16	JICA エチオピア 事務所		江畑義徳	所長
			矢部優慈郎	所員
			Mr. Yoshitila Amare	高級クラーク

添付資料 - 4 個別協議議事録

議 事 録	
訪問先	在エチオピア日本大使館
日時	平成 15 年 2 月 28 日 (金) 9:00 ~ 10:00
面会者	庵原宏義特命全権大使、荻野宏之一等書記官
同行者	JICA エチオピア事務所：江畑義徳所長、矢部優慈郎職員
調査団	杉山、西村、魚地、畠山
協議内容	<p>1) 大使に対して予備調査団派遣に至る経緯ならびに対処方針説明</p> <p>2) 大使よりの指摘事項</p> <ul style="list-style-type: none"> * 本案件は「工」国首相の強い指示により要請された経緯があり、さらに「工」国外務大臣が日本から帰国直後であり、本案件に対するエチオピア側の期待は非常に高い。 * 予備調査実施に際しては、工学的見地だけでなく、援助の効率性を見地を考慮の上、日本の道路セクターの技術力を最大限利用して予備調査を行ってほしい。 * 世銀の融資区間をはじめとして、他のドナーによる融資区間の道路整備状況の現状もできるだけ視察し、日本の援助による道路整備の良さを確認してほしい。 * 既にならで完成した道路区間の沿道住民への波及効果も確認してほしい。 * アフリカ縦断道路をはじめとして、ジブチ輸出入回廊以外の多角的道路網の観点から調査対象道路の機能を検証し、必要性が高いと判断されれば、どのような日本の援助スキムで対応するかについて検討してほしい。 <p>3) 荻野書記官よりの指摘事項</p> <ul style="list-style-type: none"> * スーダンよりの石油製品輸入状況について確認してほしい。 * 他のドナーとの協調の可能性についても検討してほしい。 * 土地収用を巡るトラブルに関して、ERA の総裁は法律を変えたいと考えている。 <p style="text-align: right;">以上</p>

議 事 録	
訪問先	Ministry of Foreign Affairs (外務省)
日時	平成 15 年 2 月 28 日 (金) 11:30 ~ 12:00
面会者	アジア・オーストラリア・中東総局： 副局長 Mr. Addis Dilnessa, 顧問 Mr. Ashenafi Abebe
同行者	JICA エチオピア事務所：江畑義徳所長、矢部優慈郎職員
調査団	杉山、西村、魚地、畠山
協議内容	<p>1)調査団より予備調査の概要を説明</p> <p>2) Addis 副局長よりの調査に対するコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> * 調査対象道路は非常に重要な道路で、アバイ橋については非常に危険な状態であるが、大型貨物車の交通量が多い。 * 日本に要請している案件は、高度に効率性を要する案件のみである。 * 調査対象道路の整備は工国国民全体の願いであり、首相の意向を外相を通じて川口外相に伝えたほどこの案件の重要性は高い。 * 日本のみが持続的開発に関して考慮してくれている。従って、本予備調査での建設的な報告を期待している。 * 現在整備中の区間では、用地補償を巡って一部に問題があったが、大多数の沿道住民は道路整備を歓迎している。 * インフラプロジェクトでの社会問題発生に関しては、日本の納税者のことを理解している。 * 峡谷区間の道路が改良されないと、現在進行中のゴハチオンまでの整備における経済効果が少なくなってしまう。調査対象道路全体が整備されることにより 3-4 時間の時間短縮になる。 * 用地補償の問題については、近々日本大使館に対して公文書で結果を報告する。 <p style="text-align: right;">以上</p>

議 事 録	
訪問先	Ministry of Finance and Economic Development (財務経済開発省)
日時	平成 15 年 2 月 28 日 (金) 13:30 ~ 14:00
面会者	二国間協力部： 部長 Mr. Hailemichaei Kinfu アジア・オーストラリア・中東担当課 専門家 Mr. Gebremedhin Birega
同行者	JICA エチオピア事務所：矢部優慈郎職員
調査団	杉山、西村、魚地、畠山
協議内容	<p>1)調査団よりインセプション・レポートにより予備調査の概要を説明</p> <p>2) Kinfu 部長よりの調査に対するコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> * 日本が整備している道路の品質には非常に満足している。 * 調査対象道路及びアバイ橋は非常に重要な道路で、優先度が高い。特にアバイ橋の架け替えは優先度が高く、急を要する。 * RSDP の中で、アフリカの周辺国と比較して、エチオピアの道路密度の低さが指摘されている。 * 広域的な道路整備が地域内の道路整備に貢献し、その結果地域住民の生活向上につながっている。 * 現在、スーダンのポーツーダンとの間での貨物輸送が行われており、その面でも調査対象道路の重要性が増している。 * デブレマスコスまでの整備に関して日本の資金協力を期待している。この区間の整備なしでは、デブレマルコス以北の道路を整備する意味がなくなる。 * 外務大臣が日本で強調したように、本案件は日本とエチオピアの協力関係のシンボルとなる。 * このプロジェクトの重要性は言うまでもなく、予備調査団に対する全面的な協力を約束する。その後、設計ならびに事業実施に繋がることを大いに期待している。 * 用地補償問題に関しては、ERA と関係機関の間で対応策が既に合意されており、現在は正式文補が ERA から提出されるのを待っている段階である。 <p style="text-align: right;">以上</p>

議 事 録	
訪問先	Ethiopian Road Authority (エチオピア道路公社 ERA)
日時	平成 15 年 2 月 28 日 (金) 15:00 ~ 15:30
面会者	総裁 Mr. Tesfamichael Nahusenay
同行者	JICA エチオピア事務所：矢部優慈郎職員
調査団	杉山、西村、魚地、畠山
協議内容	<p>1)調査団よりインセプション・レポートにより予備調査の概要を説明</p> <p>2) 総裁よりの調査に対するコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> * アフリカ縦断道路に関しては、エチオピアとスーダン間の紛争により機能していなかったが、近年両国政府間で結節を強めることで二国間協定が調印され、各々の国境までの整備が行われている。従って、このアフリカ縦断道路の一角を成す調査対象道路の整備は非常に重要である。 * 本調査対象道路は、日本の協力のシンボルとなると考えている。 * 道路の沿道住民に与える影響に関しては、世銀による社会影響に関するワークショップも開催されており、道路プロジェクト実施に際しては、事前に社会環境影響評価を行っている。 * アバイ橋に関しては、Parkman が調査を行った 1997 年には状態は極端には悪化していなかったが、その後床版の落下等が発生し、現在では危険な状態になっている。そのため、世銀の援助で補修を検討したが、受注した中国業者との間で補修方法についての合意ができず、補修を断念した。なお、アバイ橋の図面はない。 * アバイ橋周辺には、以前は地雷が敷設されていたが、現在はすべて撤去されている。 * ERA では、道路補修工事も民営化することを計画している。 <p style="text-align: right;">以上</p>

議 事 録	
訪問先	The World Bank, Ethiopia Country Office (世銀エチオピア事務所)
日時	平成 15 年 2 月 28 日 (金) 16:00 ~ 17:00
面会者	Senior Operation Office (インフラ担当) Mr. Negede Lewi
同行者	JICA エチオピア事務所：矢部優慈郎職員
調査団	杉山、西村、魚地、畠山
協議内容	<p>1) 調査団より予備調査の概要を説明</p> <p>2) Mr. Negede より世銀のインフラ関係プロジェクトの内容についてヒアリング</p> <p>* デブレマルコス～メラウィ間 (220km) については、1999 年 4 月に ERA が中国の業者 (元々は戦車製造会社) と契約したが、契約工期の 2002 年 4 月でも殆ど進捗していなかったことから、工事管理能力不足と判断し、世銀の勧告で南アのマネージメント会社が関与するようになってから、工事が軌道にのり、2003 年 1 月末での進捗は 46%となっている。</p> <p>* メラウィ～ゴンダール間 (208km) については、当初ユーゴの業者と契約したが、ユーゴに対する経済封鎖の関係で契約が破棄になり、再入札の結果、ERA は 2001 年 10 月に中国の業者と契約した。しかし、こちらも業者 (China Road & Bridges) も他国を含め能力以上の受注をしており、色々な理由をつけて工事は遅延しており、2003 年 1 月末時点の進捗は 4.3%である。</p> <p>* 中国の業者が受注したプロジェクトは、すべて遅延しており、世銀では重大な問題であると考えている。</p> <p>* 世銀では道路関係で、1992 年～2000 年 12 月にかけて 3 本の大きなプロジェクトへの融資を行ってきている。</p> <p style="padding-left: 2em;">主要輸出入回廊道路リハビリ 道路リハビリ調査 (舗装管理、F/S、設計見直し、ERA 職員訓練) 道路セクター整備プログラム (1998 年より開始 1,300km の道路リハビリ)</p> <p>* その他、グラントで ERA のキャパシティービルディング、技術力向上、道路基金のモニタリング等のプログラムを実施中である。</p> <p>* 北部・北東部の道路プロジェクトでは、ERA が ROW を確保している関係で用地問題は発生していない。但し、採石場ならびにそこへのアクセス道路で一部に問題が発生したケースはある。なお、エチオピアではすべての土地は政府の所有であり、住民移転のための Resettlement Policy Program が策定されている。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

議 事 録

訪問先	Ethiopian Roads Authority (ERA), Planning & Programming Div.
日時	平成 15 年 3 月 4 日 (火) 9:30 ~ 10:30
面会者	Manager Mr. Zaid Wolde Gebriel
調査団	杉山、西村、魚地、畠山
協議内容	<p>1) 調査団よりインセプションレポートに基づき予備調査の目的・概要を説明</p> <p>2) Mr. Zaid の Negede よりのコメントは以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> * ERA のプロジェクトに対する日本の協力に感謝している。今回のプロジェクトではデブレマルコスまでの道路改良について協力してもらえると認識している。 * 調査対象道路は北西部への唯一の道路であり、優先度は非常に高い。その中でもアバイ橋の架け替えの優先度が一番高い。 * 以前、アバイ橋を通行止めにして補修を行うことを計画したが、輸送業者等の反発が強く、補修を断念した経緯がある。 * 現在実施中のプロジェクトに関する住民への補償問題に関しては解決済みであるが、その確認については早急に文書を作成して外務省経由で日本政府に報告する。 * ERA では道路敷 (ROW) を道路中心線から左右に 15m ずつ計 30m 確保しているが、道路プロジェクトの実施に際しては道路敷内の住居等に対して、不法占拠者も含めて補償を行っている。 * 現在すべてのプロジェクトの実施に際して EIA が必要になっている。本プロジェクトにおいて JICA サイドで EIA を実施してもらえれば幸い。調査団からは、EIA 等環境手続は、「エ」国側負担事項であることを説明。 * 現在実施中のプロジェクトで発生した住民補償に関しては短期的解決策であり、今後のプロジェクト実施に際しては社会影響評価調査を事前に行うことになる。 <p style="text-align: right;">以上</p>

議 事 録	
訪問先	国連アフリカ経済委員会 (Economic Commission for Africa) Regional Cooperation and Integration Division
日時	平成 15 年 3 月 5 日 (水) 16:30 ~ 17:00
面会者	Senior Economic Affairs Officer, Transport Mr. Namadou Hachim Koumare
調査団	杉山、西村
協議内容	<p>1) 調査団より予備調査の目的・概要を説明</p> <p>2) Mr. Koumare よりアフリカ縦断道路、横断道路プロジェクトの進捗状況についてヒアリング。ヒアリングの結果は以下の通り。</p> <p>a. アフリカ縦断道路、横断道路プロジェクトは以下の問題を抱え、長期間にわたり進捗が停滞していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 隣国間の紛争ならびに内戦 ● 政治的に決定されたネットワーク ● 平行路線の存在 ● 幹線道路として不十分な交通量 ● 国境通過に係る煩雑な手続き <p>b. 近年になり、隣国間の紛争ならびに内戦が解決されつつある地域が増え、その結果、アフリカ縦断道路、横断道路プロジェクトの進捗にも光明が見えてきた。特に、エチオピアとスーダンの間の和解は、東アフリカ縦断道路の進捗にとって意義が大きい。</p> <p>c. 今後のプロジェクトの目標としては、アフリカ縦断道路、横断道路のミッシングリンクの解消が第 1 であり、そのためにアフリカ開発銀行の資金援助で、"Review of the Implementation Status of the Trans-African Highways and the Missing Links" という調査を実施し、各アフリカ縦断道路、アフリカ横断道路の現状と課題をとりまとめた。なお、ECA では、ミッシングリンクを以下のような道路区間として定義している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 完全に道路が欠如している区間 ● アフリカ道路の基準以下の区間 (すべての未舗装道路) ● 改良のための融資が決定していない区間 ● フェリー区間 <p>d. 今回の JICA 予備調査の対象区間は、東アフリカ縦断道路の一部をなす重要な幹線道路区間である。一方、ジブチから西に向かいゴンダールを経てスーダンに至る道路は、アフリカ横断道路の一部ではあるが、フィーダー道路としての扱いである。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

議 事 録	
訪問先	Ethiopian Roads Authority (ERA), Debre Markos District Office
日時	平成 15 年 3 月 13 日 (木) 9:00 ~ 10:00
面会者	District Manager Mr. Haddis Tesfaye
調査団	西村、魚地 JICA 山名専門家同席
協議内容	<p>1) デブレマルコス地域事務所作成資料の内容について質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 建設機械は各セクション（維持管理事務所 - 4 箇所）に配備されており、軽微な修理については各セクション、大規模な修理はデブレマルコスのワークショップで実施している。 ● 民間から建設機械をレンタルすることもある。 ● アバイ峡谷道路は、アバイ橋を含む北側がデブレマルコス地域事務所、南側がアテムガナ地域事務所の管轄となっている。以前は、各々の管轄区間に関して別々に維持補修工事を行っていたが、デブレマルコス地域事務所の建設機械台数の不足から、2 年前より全区間の維持補修をアテムガナ地域事務所が実施することになり、この 2 年間に亘り緊急維持補修工事を実施中である。 ● デジェン～デブレマルコス間は、デブレマルコス地域事務所にとって数少ない舗装道路区間であり、維持補修に頭を悩ましている。コールドミックスを使用した舗装打ち換えを開始したが、あくまでも維持補修の一環であり、耐用年数も 5 年未満と考えている。従って、できるだけ早く、日本の協力により全線の改良が行われることを切望している。 <p style="text-align: right;">以上</p>

議 事 録

訪問先	East Gojam Rural Development, Office of Natural Resources
日時	平成 15 年 3 月 13 日 (木) 8:30 ~ 9:00
面会者	Mr. Esubalew Ferede
調査団	畠山、Mr. Dafa Gudina
協議内容	<p>1) この管轄域では、地図の形で、土地利用、保護地は存在しない。</p> <p>2) 森林はすべて国有であり、保護林はこの近くではエラバにある。 この付近はすべて人工林で、木の貴重種はない。</p> <p>3) 州所有の森林地帯を除き、この区間は最も人口稠密なので陸生野生生物種は一般的でない。森林地帯では森林生態系に霊長目の動物、特にヒヒ、サル、夜行性のネコ科の動物種、残飯などをあさる種、普通のトリがいることが知られている。アンテロープ、イノシシとヤマアラシも生息し、それらは森林レンジャーにより保護されている。森林には固有動物種はいない。</p> <p>4) なお、3月12日に訪問した際、Mr. Esubalew Ferede の Head である Dr. Bitew G. は、今後とも JICA プロジェクトに協力すると述べた。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

議 事 録	
訪問先	CIDA (Canadian International Development Agency)
日時	平成 15 年 3 月 17 日 (月) 11:10 ~ 12:00
面会者	Environment Advisor Mr. Tamene Tiruneh
調査団	畠山
協議内容	<p>1) 対象地域でのプロジェクトがあるかどうか確認の目的で CIDA を訪問した。CIDA は何も対象地域でプロジェクトはないとのことである。ただし、1 年後にスタートのプロジェクトがある。内容は、</p> <p>“Water harvesting and Institutional Strengthening in Amhara(SWHISA)”</p> <ul style="list-style-type: none"> - 予算はカナダ\$11.5 百万である。 - 技術協力 - 7 ヶ月間の設計フェーズ - 実施期間は 6 年間 <p>2) アバイ峡谷を研究中の NGO を紹介された。</p> <p>Canadian Physicians for Aid and Relief (CPAR) Mr. Ato Kassayo Derseh 42-31-24, 42-55-75</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

議 事 録	
訪問先	Ethiopian Roads Authority (ERA), Environmental Management Branch, Contract Administration Division
日時	平成 15 年 3 月 18 日 (火) 9:30 ~ 11:00
面会者	Mr. Teshome, Mr. Addisa Megersa, Mr. Abi Tesfaye
調査団	畠山
協議内容	<p>1) ERA の道路建設プロジェクトに係る EIA と土地収用/補償に関して聞き取りと資料収集を行った。</p> <p>2) エチオピアの国家環境政策(1997)は、セクターと横断的セクター環境問題について法的規定を描く基本的な政策文書であり、国家開発計画に従う主な規定は環境影響評価(EIA)である。ERA はこの国家環境政策の枠組みの中で道路プロジェクトに対する EIA ガイドラインを作った。</p> <p>3) この EIA はゴハチオン - デジェンとデジェン-デブレマルコス区間で国家政策の持続的目的とセクターガイドラインの要求を満たすために適用できる。</p> <p>4) 天然資源と同様に都市と農村の土地の所有権は、もっぱら国家とエチオピア国民に付与されている (布告 No.1/1995)。土地と財産への避けられない環境影響に対する補償は、国の憲法に述べる天然資源保有政策の枠組みの中で行われる。</p> <p>5) ERA が行ってきたプロジェクトにおいて、一部の補償問題を除けば、苦情はなかった。沿道住民は、道路の裨益を期待しており、非常に協力的であった。</p> <p>6) EIA ガイドラインと最近のプロジェクトに係る EIA 報告書を入手した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Environmental Procedures Manual 2001 ・ Environmental Impact Assessment Package 'A' Road Projects Gashena-Lalibella, D/F, Nov. 2002 <p>7) 土地収用/補償に関しては、住民移転ガイドラインに含まれている。また、最近のプロジェクトに係る住民移転アクションプランを入手した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Resettlement/Rehabilitation Policy Framework ・ Preparation of Resettlement Action Plan for Woldia -Werota road and Adigrat-Adwa-Shire road, D/F, Feb. 2003 <p style="text-align: right;">以上</p>

議 事 録

訪問先	Ethiopian Roads Authority (ERA), Alem Gena District Office
日時	平成 15 年 3 月 20 日 (木) 10:00 ~ 12:00
面会者	District Manager Mr. Mesefen Haile, Assistant Mr. Workew Kuma
調査団	西村
協議内容	<p>1) アレムガナ地域事務所では、2 年前よりアバイ峡谷道路全区間の維持補修工事を担当している。維持補修工事に先立って、同区間の問題箇所についてのインベントリー調査を行い、その結果については JICA にも提出している (後日入手)。</p> <p>2) アバイ峡谷道路で問題が発生している区間は、ゴハチオン側の約 500m 区間 (急勾配が問題)、アバイ橋を挟む 6km の区間 (落石)、デジェン側の 6km の区間 (地滑り) であり、ゴハチオン側の区間については一部改良工事を実施済みである。従って、現時点で防災上特に問題となっているのはデジェン側の地滑り区間である。</p> <p>3) ゴハチオンのセクション事務所には、75t のクラッシュングプラント、ブルドーザー 1 台、グレーダー 1 台、ローラー 1 台、ホイールローダー 1 台、ダンプトラック 9 台を配備し、アバイ峡谷道路の維持補修工事を行っている。なお、同事務所には 40 名の職員が配属され、それ以外に 20 名の臨時職員も雇用している。</p> <p>4) 予備調査対象区間の中では、アバイ橋の架け替えの優先度が一番高く、次いでアバイ峡谷道路の改良である。一方、デジェン ~ デブレマルコス間に関しては、ERA が独自に改良工事を行うことも可能であると考えている。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

議 事 録

訪問先	Ethiopian Wildlife Conservation Organization (EWCO), Education & Public Relation
日時	平成 15 年 3 月 20 日 (木) 9:00 ~ 10:00
面会者	Expert of conservation Mr. Ketema Fufa
調査団	畠山
協議内容	<p>1) 対象地域、特にアバイ峡谷に生息する動物のリストにつきリクエスト、及び生態系保全につき、意見を訊いた。</p> <p>2) EWCO はエチオピアの野生生物保護を目的に設立された公的機関であり、世界自然保護基金(WWF: World Wildlife Fund for Nature)の支援を受けている。</p> <p>3) プロジェクトの概略説明をした。アバイ峡谷のナイルワニは移動するので橋梁工事中の問題はないだろう。作業ヤードは大木でなく灌木がある場所なら問題ない。調査団が見たというヒビは貴重種でなく普通のヒビと考えられる。工事期間中は動物は逃避するので、問題ないだろう。</p> <p>4) 動物リストについては、いままでにアバイ橋に限定した調査は行われていないので、国全体のものを提供する。</p> <p>5) 動物リスト(哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類)を受領した。</p> <p>Ethiopia: Compendium of Wild life Conservation Information, Dr. Jesse C. Hillman, Mar. 1993</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

議 事 録

訪問先	National Meteorological Services Agency, Coordination Office
日時	平成 15 年 3 月 20 日 (木) 11:10 ~ 11:40
面会者	Mr. Kidanu Mehreto
調査団	畠山
協議内容	<p>1) 対象地域の気象データを収集することを目的に訪問した。</p> <p>2) 対象地域に関係する観測所名と観測項目は以下のとおり</p> <p style="padding-left: 40px;">Debre Markos (Principal Station) - Rainfall, Temperature, Relative humidity, Evaporation, Wind, Hours of sunlight</p> <p style="padding-left: 40px;">Lumane - Rainfall</p> <p style="padding-left: 40px;">Yetnora - Rainfall, Temperature</p> <p style="padding-left: 40px;">Yetmen - Rainfall, Temperature</p> <p style="padding-left: 40px;">Dejen - Rainfall</p> <p style="padding-left: 40px;">A. Sheleko - Rainfall, Temperature</p> <p style="padding-left: 40px;">Filiklik - Rainfall, Temperature</p> <p style="padding-left: 40px;">Goha Tsion - Rainfall, Temperature</p> <p style="padding-left: 40px;">Gebre Guracha - Rainfall, Temperature</p> <p style="padding-left: 40px;">Fiche (Principal Station) - Rainfall, Temperature, Relative humidity, Evaporation, Wind, Hours of sunlight</p> <p>備考：観測所は幹線道路に沿って設けてある。</p> <p style="padding-left: 40px;">A,Sheleko はアバイ峡谷内の観測所である。</p> <p style="padding-left: 40px;">地震データは Disaster Prevention and Preparedness Commission (DPPC)にある。</p> <p>3) 申請レターの宛先は National Meteorological Service Agency として、観測所名、項目、月別データ、期間を記入する。レターは当ビル Ground floor にある Record Office へ提出する。</p> <p>4) 受け取り先は、Lalibera Hotel の近くにある分局。</p> <p>5) 3 月 21 日 Record Office に西村団員作成レターを提出し、承認を受けた後、分局を訪問した。Mr. Demlew Aweke Berhanu (Deputy General Manager)に面会、実務者 Mr. Kibru を紹介され、データの詳細を聞き取り。本部へ入金後、データを受領。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

議 事 録	
訪問先	SIDA (Swedish International Development Agency)
日時	平成 15 年 3 月 21 日 (金) 11:00 ~ 12:00
面会者	Project Officer Mr. Aklog Laibe
調査団	西村
協議内容	<p>1) 調査団より予備調査の目的・概要を説明</p> <p>2) Mr. Laibe よりアムハラ地域において SIDA が援助しているプロジェクトの概要についてヒアリングした結果は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクトの名称は”SIDA – Amhara Rural Development Program” (SARDP)で、2001 年から 4 年間の予定で実施中。プロジェクトコストは、4 千万ドル。 ● プロジェクト対象地域は、アムハラ地域内の 16 地区 (Wallada) で、アバイ川西側の地域 (Debre Markos 及び Bichena) とアバイ川東岸の地域 (Welo 県南部地域) の組み合わせとなっている。 ● プロジェクトの目的としては、農村開発ならびに域内道路の改善であるが、地区の行政の支援も同時に実施している。 ● 域内道路の改善としては、地方道路及び農村道路の砂利道化 (当初は土道での整備予定であったが、住民からの強い要望により砂利道化に変更) であり、各町村に 2 台ずつのトラクターを供与するとともに、アバイ川兩岸の地域に 2 台ずつのローラーを供与し、住民の自助努力で道路を整備するものである。 ● また、各地区に対して年間 6 万ドルの予算を配分し、各地区の行政が独自のプログラムで地域開発を行うということも実施している。 <p>3) Mr. Laibe よりのヒアリングで明らかになった関連プロジェクトは以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在、EU、SIDA、イタリアが共同で、上記プロジェクト対象地域内の Kombolcha(アバイ川東側) ~ Ginde Woin(アバイ川西側) 間(約 300km) の連邦道路整備計画を立案中である。 ● このプロジェクトの主目的は、アバイ川西側の農業地域で生産される農作物を、アバイ川東側の食料自給が困難な地域に運搬するための道路を確保することである。 ● 現在、このプロジェクトは F/S の段階であるが、事業費が 1.5 億ドルと予測されており、かつアバイ川の橋梁を含め大規模な橋梁の建設が 3 橋必要なことから、実施には多くの問題がある。 <p>4) SIDA でも、農村地域における森林伐採等による土壌流出を大きな問題として考えている。これは、エチオピアにおける土地所有がすべて政府ということから、住民が土地の問題を自分自身の問題として意識しないことが大きな要因。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

議 事 録

訪問先	Ethiopian Petroleum Enterprise
日時	平成 15 年 3 月 21 日 (金) 14:00 ~ 14:30
面会者	Technical Expert Mr. Worku Gossaye
調査団	西村
協議内容	<p>1) エチオピア政府は、スーダン政府との間で 2003 年 1 月末にスーダンからの石油輸入についての協定を締結した。</p> <p>2) 同協定での輸入量は 1 ヶ月 1 万メトリック・トンで、1 日あたりタンクローリー約 10 台分に相当する。スーダン側での精製量に余裕がないことから、近い将来もこの輸入量が増えることはないと考えている。</p> <p>3) スーダンから輸入した石油は、ゴンダールのデポに持ち込まれ、そこから他の地域に輸送されている。なお、アディス・アベバには、スーダンからの輸入量の 60 ~ 70% が輸送されていると考えている。</p> <p>4) アディス・アベバ北方に、国家の安全政策上から石油備蓄基地を建設しているが、この備蓄基地の建設は、スーダンからの石油輸入とは直接には関係はない。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

議 事 録

訪問先	Ethiopian Roads Authority (ERA), Pavement Management Branch
日時	平成 15 年 3 月 21 日 (金) 14:30 ~ 15:00
面会者	Chief Mr. Haileyesus Adamtie
調査団	西村
協議内容	<p>1) ERA では、アディス・アベバに入る幹線道路上に検量所を設置し、貨物車両の軸重の検量を行っている。</p> <p>2) 現在の ERA の基準では、2 軸車で軸重 8 トン、3 軸車以上で軸重 10 トンと規定しており、総重量も最大 58 トンと規定している。</p> <p>3) 検量の結果では、約 30 ~ 40%の貨物車両が過積載となっており、過積載の車に対しては裁判所への出頭命令を発行している。但し、過積載の罰金はトンあたり 35 ドルと安いことから、罰金を払っても過積載を続ける運送業者も多い。従って、過積載の車両は規定の 20 ~ 30%増しの軸重 13 トン程度で運行されていると考えられる。</p> <p>4) ゴハチオン ~ デブレマルコス間の道路に関しては、1 ~ 3 月の間はデジェン側からの農作物輸送が多い。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

議 事 録

訪問先	Ministry of Water Resources, Hydrology Department
日時	平成 15 年 3 月 21 日 (金) 14:00 ~ 15:00
面会者	Head Mr. Deksyos Tarekegn
調査団	畠山
協議内容	<p>1) 対象地域の河川流量データ、堆積データの所有状況を事前に 3 月 20 日に聞き取った上で、リクエストレター (西村団員作成) を提出した。</p> <p>2) 3 月 20 日は Mr. Eyasu Gobru (Special Assistant of Minister) に面会し、Mr. Deksyos Tarekegn を紹介された。QN にある Abay River, Bogena River, Chemoga River, Yeda River のデータはあった。Hydrological Year Book は来年出版されるとのこと。1974 年と 1979 年? はあるが、古いのでリクエストしなかった。また、図書館より Abbay River Basin Integrated Development Master Plan Project (環境編) を借用できるよう依頼した。</p> <p>3) 3 月 24 日に実務者 Mr. Belay T. よりデータを受領。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

QUESTIONNAIRE

PREPARATORY STUDY
ON
THE PROJECT FOR
REHABILITATION TRUNK ROAD PHASE III
AND
THE PROJECT FOR
RECONSTRUCTIN OF ABAY RIVER BRIDGE
IN
THE FEDERAL DEMOCRATIC REPUBLIC OF ETHIOPIA

FEBRUARY 2003

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

REQUIRED DATA AND INFORMATION

No.	Item	Availability (Y/N)	Place or contact person	Name of materials or documents
1.	GENERAL			
1.1	Counterpart Agency 1) Latest government organization charts 2) Organization charts of ERA * Organization chart * Number of personnel * Budgetary arrangement	No Yes Yes Yes	Human Resource Personnel Admin. Planning & Prog.	
1.2	National and Regional Statistics 1) Latest statistical year book of Ethiopia: Demography and economic indices 2) Latest national and regional development plans, including agricultural development plan in 3) Latest year book of road and transport statistics 4) Latest hydrologic year book	Yes Yes Yes ?	CSA Min. of Finance & Economic Development Ministry of Infrastructure	Statistical Abstract
1.3	Topographic Data 1) Maps to be used for field investigation * 1/10,000 * 1/25,000 * 1/50,000 * 1/250,000 * Other scales 2) Topographic maps covering the Study Area * 1/ 2,500 * 1/ 5,000 * Other scales 3) Aerial photos covering the Study Area: * Scale, area and year of photos taken	Yes Yes No Yes	Mapping Agency Mapping Agency Mapping Agency	

No.	Item	Availability (Y/N)	Place or contact person	Name of materials or documents
2.	<p>METEOROLOGY AND HYDROLOGY</p> <p>2.1 Observation Stations</p> <p>1) Agencies and organizations in charge of hydro-meteorological observation for such as temperature, rainfall, river water level and discharge, sediment, etc.</p> <p>2) Location map of the observation stations</p> <p>3) Availability of records</p> <p>2.2 General Climatic Features</p> <p>1) Daily and monthly temperature and rainfall records as long as available adjacent to the Project area</p> <p>2) Reports and/or reference books showing general climatic features of the Project area, main factors of rainfall and flood events in the Project area.</p> <p>3) Reports and/or natural disaster records showing flood/ inundation, landslide, seismological records, other natural disaster records in the project area.</p> <p>2.3 Hydrological Study Reports</p> <p>Study reports on basic characteristics of rainfall and runoff in the Project area and probable rainfalls and discharges</p>	<p>Yes</p> <p>Yes</p> <p>Yes</p> <p>Yes</p> <p>?</p> <p>?</p> <p>Yes</p>	<p>Meteorology Agency</p> <p>- ditto -</p> <p>- ditto -</p> <p>- ditto -</p> <p>Ministry of Water Resources</p>	

No.	Item	Availability (Y/N)	Place or contact person	Name of materials or documents
3.	ROAD WORKS			
3.1	Law and Regulations			
	1) Ethiopian Geometric Design Standard for Roads	Yes	ERA	
	2) General Specification for Construction of Roads	Yes	ERA	
3.2	Road Sector Development Program			
	1) Progress of the RSDP	Yes	Planning & Prog.	
	2) Problems for implementation of RSDP	Yes	- ditto -	
3.3	Road Inventory and Traffic Condition			
	1) Latest road inventory data of the Project road	Yes	Pavement Management Br.	
	2) Traffic volume data on the Project road and road section between Addis Ababa and Goha Tsiyon (past and present)	Yes	Planning & Prog.	
	3) Traffic accident data along the Project road	Yes	Traffic Police	
3.4	Natural Disaster Record			
	1) Past record of natural disaster, such as land slide, along the Project road between Goha Tsiyon and Dejen in detail	?	ERA?	
3.4	Road Maintenance			
	1) Details of workforce (equipment, labor force, etc.) for maintenance of the Project road by maintenance unit	Yes	Operations Dept.	
	2) Budgetary allocation for maintenance of the Project road	Yes	Operations Dept.	
	3) Past record of maintenance work on the Project road	Yes	Operations Dept.	
	4) Major problems for maintaining the Project road	Yes	Operations Dept.	

No.	Item	Availability (Y/N)	Place or contact person	Name of materials or documents
4.	BRIDGE WORKS			
4.1	Law and Regulations			
	1) Ethiopian Bridge and other Structure Design Specification	Yes	ERA	Draft Document
	2) Ethiopian Seismic Design Specification	No		
	3) General Specification for Construction	Yes	ERA	1968 ERA Spec.
4.2	Superstructure of Abay River Bridge and other Bridges	No		
	1) Design Criteria			
	2) General Plan and View			
	3) Design Drawings of Deck Slab			
	4) Design Drawings of Bearing Shoes and Expansion Joints			
4.3	Substructure of Abay River Bridge and other Bridges	No		
	1) Geological data and soil map covering the Study Area			
	2) Soil Investigation Report			
	3) Design Drawings of Abutments and Piers			
	4) Design Calculation of Piers			
4.4	Rehabilitation and Maintenance Record			
	1) Rehabilitation Record of Superstructure of Abay River Bridge	Yes	D/Markos Dist.	
	2) Maintenance Record of other Structures on the Project Road	Yes	D/Markos Dist	
4.5	Maintenance Project for the Abay River Bridge			
	1) Present Status of the Maintenance Project financed by the World Bank	Yes	Contract Admin.	
	2) Any technical document related to this Maintenance Project	Yes	Contract Admin.	

	<ul style="list-style-type: none"> - Present conditions of air quality, water quality, soil contamination, noise and vibration - Number of pollution grievances - Environmental education 	<p>No</p> <p>No</p> <p>No</p>		
--	--	-------------------------------	--	--

No.	Item	Availability (Y/N)	Place or contact person	Name of materials or documents
6.	OTHERS			
5.1	Capability/List of Local Consultants and Contractors : List of available (or certified) local consulting firms for (1) Survey and investigation, (2) Plan and design, and (3) Construction * Name * Contact person and address: phone/fax #, e-mail address * Fields of activities and major experience * Company brochure.	Yes	Ministry of Infrastructure	
5.2	Materials for Road and Bridge Construction: Availability of local materials	Yes	Contract Admin.	Design Report
5.3	Cost Data for Road and Bridge Construction: 1) Unit prices of materials, labourers and equipments 2) Unit work costs related to the road and bridge construction 3) Unit price of land and compensation costs	Yes	Contract Admin.	Design Report

添付資料-6 収集資料リスト

資料リスト(■収集資料/□専門家作成資料)

主任部長	文書管理部長	主管部長	情報管理部長	技術情報部長	図書館受入日

道路計画、橋梁計画関連

地域	プロジェクトID	調査団番号
アフリカ		
国名	調査団名又は専門家氏名	調査の種類又は指導科目
エチオピア	配属機関名	現地調査期間又は派遣期間
		無償協力(予備調査)
		15年2月26日~15年3月26日
		担当者氏名
		杉山茂

番号	資料の名称	形態(図書、ビデオ、地図、写真等)	収集資料	専門家作成資料	JICA作成資料	キーワード	発行機関	取扱区分	図書館記入欄
1	Current Status of TEAH Network and The Missing Links, August, 2001	図書	*				United Nations Economic Commission for Africa	①②・CR()・SC	
2	Review of the Implementation Status of the Trans-African Highways and the Missing Links. Draft Final Report, October 2002	図書	*				United Nations Economic Commission for Africa	①②・CR()・SC	
3	Study on Road Transport Regulations, Final Report, August 2002	図書	*				Road Transport Authority	①②・CR()・SC	
4	Ethiopian Roads Authority Standard Specifications, 1968	図書	*				Ethiopian Roads Authority	①②・CR()・SC	
5	Ethiopian Building Code Standard, Design of Structures for Earthquake Resistance, 1995	図書	*				Ministry of Works & Urban Development	①②・CR()・SC	
6	Office Memorandum, Gobaision - Dejen Road	文書	*				Ethiopian Roads Authority, Alemgena District Manager	①②・CR()・SC	
7	Debre Markos District Data, Ethiopian Road Authority	文書	*				Ethiopian Roads Authority, Debre Markos District	①②・CR()・SC	
8	Addis Ababa-Debre Markos Road Rehabilitation, Lot 2 Goba Tsion to Dejen. Volume III, Contract Drawings, Final Typical Details	図書	*				Ethiopian Roads Authority (PARKMAN)	①②・CR()・SC	
9	Addis Ababa-Debre Markos Road Rehabilitation, Lot 2 Goba Tsion to Dejen. Volume III, Contract Drawings. Cross Sections	図書	*				Ethiopian Roads Authority (PARKMAN)	①②・CR()・SC	
10	Debre Markos - Gondar Road Upgrading Project, Contract 1: Debre Markos to Merawi. Progress Report No.43, January 2003	図書	*				Ethiopian Roads Authority	①②・CR()・SC	
11	Debre Markos - Gondar Road Rehabilitation Project, Contract 2: Merawi to Gondar. Quarterly Progress Report No.1, January 2003	図書	*				Ethiopian Roads Authority	①②・CR()・SC	
12	1/250,000地形図、Addis Ababa及びDebre Markos	地図	*				Ethiopian Mapping Agency	①②・CR()・SC	
13	1/50,000地形図、Dejen, Selekula, Lumane, Amber, Bichena, Debre Markos	地図	*				Ethiopian Mapping Agency	①②・CR()・SC	
14	1/2,000,000 エチオピア全国地図, 1985	地図	*				Ethiopian Mapping Agency	①②・CR()・SC	
15	予備調査対象道路地形図	地図			*		1/50,000に基づき予備調査団作成	①②・CR()・SC	
16	調査対象地域(乾谷区間及びYeda川流域)航空写真、1980-82年及び1987年撮影、21葉	航空写真	*				Ethiopian Mapping Agency	①②・CR()・SC	
17	Geo-technical Report on the Slope Instability along the Road from Gobaision to Debermarkos, March 2003	図書		*			予備調査団委託調査結果	①②・CR()・SC	
18	Report on Traffic Count, First to Third cycle, 2002	図書	*				Ethiopian Roads Authority	①②・CR()・SC	
19	Summary of Hydrometric Discharge Data (Blue Nile Basin, Chemoga River, Bogena River, Yeda River)	データ	*				Ministry of Water Resources	①②・CR()・SC	
20	気象関連データ (Debre Markos, Lumane, Yetnora, Dejen, Abay Sheleko, Eliklik, Gobaision, Bahir Dar)	データ	*				National Meteorological Services Agency	①②・CR()・SC	
21	Registered and Inspected Vehicles	データ	*				Road Transport Authority	①②・CR()・SC	

資料リスト(■収集資料/□専門家作成資料)

主管部長	文書管理課長	主管課長	情報管理課長	技術情報課長	図書館受入日

環境配慮関連

地域	プロジェクトID	調査団番号
アフリカ	調査団名又は専門家氏名	調査の種類又は指導科目
エチオピア	配属機関名	現地調査期間又は派遣期間
		無償協力(予備調査)
		15年2月26日~15年8月26日
		担当者氏名
		杉山茂

番号	資料の名称	形態(図書、ドキュメント、地図、写真等)	収集資料	専門家作成資料	JICA作成資料	リンク	発行機関	取扱区分	図書館記入欄
1	Abbay River Basin Integrated Development Master Plan Project Phase 2 Volume X, III - Environment	図書	*				Ministry of Water Resources	□J・CR()・SC	
2	Ethiopia: a Compendium of Wild life Conservation Information, Dr. Jesse C. Hillman, Mar. 1993	図書	*				NYZS The Wildlife Conservation Society-International Ethiopian Roads Authority	□J・CR()・SC	
3	Resettlement/Rehabilitation Policy Framework	図書	*				Ethiopian Roads Authority	□J・CR()・SC	
4	Environmental Procedures Manual 2001	図書	*				Ethiopian Roads Authority	□J・CR()・SC	
5	Preparation of Resettlement Action Plan for Woldia -Werota road and Adigrat-Adwa-Shire road. D/F, Feb. 2003	図書	*				Ethiopian Roads Authority	□J・CR()・SC	
6	Environmental Impact Assessment Package 'A' Road Projects Gashena- Lalibella, D/F, Nov. 2002	図書	*				Ethiopian Roads Authority	□J・CR()・SC	
7	Environmental Policy	図書	*				Environmental Protection Authority	□J・CR()・SC	
8	The Conservation Strategy of Ethiopia - Executive Summary	図書	*				Environmental Protection Authority	□J・CR()・SC	
9	The Conservation Strategy of Ethiopia Volume I - The Resources Base, Its Utilization and Planning for Sustainability	図書	*				Environmental Protection Authority	□J・CR()・SC	
10	The Conservation Strategy of Ethiopia Volume II - Federal Policy on The Environment	図書	*				Environmental Protection Authority	□J・CR()・SC	
11	The Conservation Strategy of Ethiopia Volume III - Institutional Framework and Operational Arrangements	図書	*				Environmental Protection Authority	□J・CR()・SC	
12	Agricultural Statistics Bulletin, Aug. 2000	図書	*				Ministry of Agriculture	□J・CR()・SC	
13	Statistical Abstract, 2001	図書	*				Central Statistical Authority	□J・CR()・SC	
14	The 1994 population and Housing Census of Ethiopia, Results at Country Level, Volume I Statistical Report. June 1998	図書	*				Central Statistical Authority	□J・CR()・SC	
15	The 1994 population and Housing Census of Ethiopia, Results for Amhara Region, Volume I: Part I. Statistical Report on Population Size and	図書	*				Central Statistical Authority	□J・CR()・SC	
16	Civil Code of The Empire of Ethiopia, Proclamation No.165 of 1960	図書	*				Negarit Gazeta	□J・CR()・SC	
17	Civil Procedure Code of The Empire of Ethiopia of 1965	図書	*				Negarit Gazeta	□J・CR()・SC	
18	Proclamation No.9/1995, No.80/1997, No.89/1997, No.295/2002, No.299/2002, No.300/2002	文書	*				Negarit Gazeta	□J・CR()・SC	